

コード	502040109
記入日	H24.6.8

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	平瀬 千香子

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	社会教育関係団体補助事業
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50204	基本事業名称	学習基盤の整備	目コード	1
事務事業コード	5020401	事務事業名称	生涯学習各時期における学習機会の充実と精選事業費	細目コード	435
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	22,720人口(H23.4.1現在)			
(対象2) 社会教育関係団体		(対象指標2)	7団体			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・社会教育関係団体へ活動費を補助し支援を行った。 →補助金交付団体数 7団体 →女性団体協議会 →町PTA連合会 →社会を明るくする運動 →奈良尾青年団 →上五島地区生活学校 →青少年育成協議会 →文化協会	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****
		① (達成率分析)	7件	100%	7団体から補助金の申請があり、内容を審査し交付した。	平成23年度
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・町内で活動する社会教育関係団体を支援することで、社会教育の推進を図ることを目的としている。	*****	*****	*****	活動団体数÷ 社会教育関係団体	*****
		① (達成率分析)	7団体	100%	計画どおり活動した。	平成23年度
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	7	7		7	7				
	②									
成果指標	① 団体	7	7		7	7				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	6,448	6,448		6,448	6,448				
直接事業費 A	千円	5,748	5,748		5,748	5,748				
人件費 B	千円	700	700		700	700				
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	6,448	6,448		6,448	6,448				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	時代の変化により町の支援が必要であり、社会教育を推進していく必要がある。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	社会教育の推進に伴い、地域の活性化、文化の向上に繋がっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	活動の充実を図ることで、更なる成果を上げる余地がある。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	社会教育の推進に相応の成果を上げている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	活動に必要な補助額を計上し、効率を上げるよう努力している。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	社会教育の推進のため町内で活動する社会教育関係団体を支援することは必要である。補助金の交付にあたっては、補助基準により適正な執行に努めること。
----------------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。